



社協事業 歳時記 日舞と園児の発表広場 (1月21日)  
(福祉の里レインボープラザ)



社協事業 歳時記 第2回子育て支援交流会 (1月19日)



社協事業 歳時記 節分会 (2月3日)  
(第三介護サービスセンター)



社協事業 歳時記 にこにこヘルパー救命講習  
(2月14日)

## 主な行事

3月

26日(月) 理事会  
27日(火) 評議員会

4月

26日(木) 地区社会福祉協議会会長会議

5月

16日(水) 監事会  
25日(金) 理事会  
26日(土) 地域福祉のつどい  
28日(月) 評議員会

## 目次

- きたるべきその時に備えて!! ~3・11からはや1年、地域が動き出した!! ~ P2~3
- ボランティア活動を充実していくためのPR大作戦! P4
- 平成24年度ボランティア活動保険の加入受付中!! P5  
平成24年度の臨時職員登録者の募集が始まりました
- 長いあいだありがとうございました・各種相談事業のお知らせ P6  
社会福祉協議会へのご寄附ありがとうございました
- 春日井市社会福祉協議会の会員に加入いただき、ありがとうございました P7  
共同募金へのご協力ありがとうございました・平成23年度共同募金実績報告
- ちょっとお助けサービス事業活動レポート・家具転倒防止器具取付事業 P8



かすがいし  
しゃきょう  
春日井市社協キャラクター  
ひらひらちゃん

# きたるべきその時に備えて!!

## ～3・11からはや1年、地域が動き出した!!～

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から丸1年が過ぎました。この1年、私たちは、様々な機会を通して災害に備えた準備を進めてきました。皆さんの身の回りでも、家族の中、地域の中、職場の中など以前にも増して防災への話題は、多くなっているのではないのでしょうか。この危機感を一過性のものに終わらせてはなりません。今回は、地域におけるその取り組みをご紹介します。

### 春日井地区社会福祉協議会 福祉学習型モデル事業 ～広げよう地域防災の輪～



消防署職員の報告に皆さん聞き入っていました。



12月3日に春日井地区社会福祉協議会を中心として、震災に備えるための知識を身に付けることなど、防災意識の啓発を目的に福祉学習型モデル事業を実施しました。今回は、非常持ち出し品の確認や日用品を使った簡易担架づくり、三角巾による骨折の応急手当方法を学びました。また、消防署職員による東日本大震災

への派遣報告では、被災直後の写真も見ることで、改めてその被害の甚大さを痛感しました。

この事業を通して、日頃の備えだけでなく「自分たちのまちは自分たちで守る」という住民同士による助け合いの気持ちを育むことができました。



簡易担架をつくり、実際に体験しました。

### 関田区 秋季防災訓練

#### ～住民参加による防災シミュレーション～

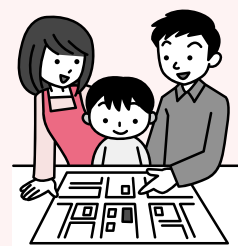
関田区では、11月20日に関田公民館で市消防本部の協力により防災訓練を実施しました。地震による被災の想定により、関田区がいかに組織的に人命救助を行うのか。また、火災など、2次被害に対応するのかについての机上訓練を行いました。防災倉庫の鍵の管理や関係者の集合場所の設定など、判断に迷う場面も多々あり、参加者は真剣に取り組んでいました。また、地区の日赤奉仕団による炊き出しもあり、参加者の交流が図られました。



机上訓練の様子です。参加者の積極的な意見が交わされました。



炊き出し訓練により、地域のつながりがさらに深まりました。





## 春日井市災害ボランティアコーディネーター連絡会の取り組み



後藤 一明さん

阪神淡路大震災の2週間後に現地入りした際に、災害救援の必要性を強く感じたことが契機となり、平成18年に春日井市災害ボランティアコーディネーター連絡会を発足させました。会員は現在41人で、春日井市に災害救援ボランティアセンターが開設された際にはボランティアの派遣調整を行います。その時に備えて、私たちは日頃から防災に関する情報収集や技能の研鑽に努めています。

東日本大震災により市民の防災意識も高まる中、昨年9月には春日井市も豪雨災害に見舞われました。災害から「生き抜く智慧」を、様々な機会を捉えて啓発して行く必要性を感じています。



市総合防災訓練における模擬体験の様子です。

## 春日井市社会福祉協議会の取り組み

### 災害救援ボランティア体験研修会



災害救援ボランティアセンターの受付の様子です。



11月21日に総合福祉センターで災害救援ボランティア体験研修会を開催しました。今回の研修会は、震度7規模の震災を想定し、障がい者の避難誘導やゴミ袋を使った簡易雨具の作成など、非常時に備えた体験を中心に実施しました。



各自が持てる非常持ち出し品の重さを確認しました。

また、被災者の生活復旧を手助けするボランティアのコーディネートを行う「災害救援ボランティアセンター」の実際の流れを、受付から活動報告まで、一人ひとりが体験することで、いざ災害が起きた時にボランティアとして何を行うのかを学ぶことができました。

### 第一希望の家での避難訓練

12月7日に避難訓練を開催しました。第一希望の家では、年間2度の訓練を行っており、夏季の訓練は火災、冬季の訓練は震災を想定して行いました。

訓練では、地震発生とともに机の下に入った後、外へ避難しました。東北で大震災が起こり利用者の皆さんも訓練の大切さを今まで以上に感じているようです。参加した利用者さんからは「地震は怖いけれど訓練をして少し安心できた」という声が聞かれました。



グラッキーに乗って、震度5を体感しています。



第一希望の家での避難訓練の様子です。



ご紹介した取り組みはほんの一部ですが、春日井市においても防災への取り組みは広がりを見せています。常日頃から防災への理解を深めること、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を持ち続けることが、災害による被害を少なくする大きな力になります。これからも地域の防災力を高めていくため住民同士の関わりを持ち続けていきたいです。

# ボランティア活動を充実していくためのPR大作戦!

## 春日井市と小牧市の ボランティア交流会を行いました!!

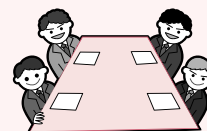
11月25日(金)小牧市ふれあいセンターで、春日井市と小牧市のボランティアの交流会を行いました。この交流会は平成21年度から開催し、今年で3回目となりました。

春日井市から15名、小牧市から14名のボランティアが参加しました。

ボランティアの主な悩みで、「ボランティアグループの会員が増えない」、「会員が高齢化してきて活動を続けるのが難しくなっている」といった話をよく耳にします。

そこから一步前に進むためには、もっと多くの人に自分達の活動を知ってもらうため、自ら情報発信することが大切です。

そこで、「ボランティア活動を充実していくためのPR大作戦!」というテーマでワークショップを行いました。



### 各グループから出た意見としては…

- ①ブログなどでグループ紹介をする。
- ②「社協だより」、「広報」、「ホームページ」などで講座のお知らせをする。

ブログ、広報紙、  
携帯メールを活用  
する。

ボランティア活動は楽しい  
ということを身近な人に伝える。  
(口コミ)

ボランティア活動  
の楽しさを伝える。

既存のイベント等にボラン  
ティア紹介のブースをつくり、  
PRや活動体験、交流イベン  
トを新たに開催する。

交流の場づくり



皆さん和気あいあいとお話  
しされていました。

できること(できそうなこ  
と)から実施してみたいか  
がでしょうか?

春日井市社協ボランティア  
センターブログでは、ボラン  
ティアグループの活動紹介も  
掲載できますので、お気軽に  
ご相談ください。

かすがいし



しゃきよう  
春日井市社協キャラクター  
ひらひらちゃん

問い合わせは…

春日井市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
春日井市浅山町1-2-61 (総合福祉センター内)

TEL 85-4321 FAX 84-3933

E-mail:syakyo-vc@mocha.ocn.ne.jp

# 平成24年度 ボランティア活動保険の加入受付中!!

ボランティア活動保険は、自発的な意思に基づき、他人や社会に貢献する無償の活動をしているボランティア個人またはボランティアグループ、特定非営利活動法人（NPO法人）が安心して活動するために加入できる保険です。

## 対象となる事故は

傷害事故…ボランティアがボランティア活動中の事故によりケガをした場合。

※例 ボランティア活動中に転んで骨折をした。

ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあった。

ボランティア活動中に食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。

賠償事故…ボランティアがボランティア活動中の事故により法律上の損害賠償責任を負った場合。

※例 ボランティア活動中、誤って他人にケガをさせた。



## 加入保険料は

補償金額で異なりますが、基本プラン250円、300円、350円の3種類と、天災特約付プラン330円、390円、470円の3種類があります。

※年度毎に更新が必要です。

## 加入期間は

加入手続きが完了した翌日から、その年度の3月31日までですが、平成24年4月1日からの補償を希望する場合は、平成24年3月30日（金）までに加入手続きを完了する必要があります。

## 加入手続きに必要なもの

保険料、印鑑を御持参のうえボランティアセンターにお越しくください。【特定非営利活動法人（NPO法人）の方が加入する場合は、認証通知書の写し、又は確認のできる書類が必要です。】

詳しくは

## 問い合わせ

春日井市社会福祉協議会 ボランティアセンター

春日井市浅山町1-2-61（総合福祉センター内） TEL 85-4321 FAX 84-3933

《利用時間》月～金曜日（祝休日及び年末年始を除く）午前8時30分～午後5時15分



# 平成24年度の臨時職員登録者の募集が始まりました

本会では、臨時職員の登録制度を設けております。

この登録制度は、本会の運営する施設で、職員の補充や増員が必要となった場合に、あらかじめ登録している方の中から、資格や勤務条件などを考慮し、面接選考により臨時職員として採用するものです。

募集している施設や職種は次のとおりです。

**施設** 子どもの家、第三介護サービスセンター、第一・第二希望の家、福祉作業所  
母子の家、総合福祉センター、福祉の里、福祉文化体育館

**職種** 保育職、介護職、看護職、事務職（職種により時給が異なり、資格が必要な職種もあります。）

**登録有効期限** 平成25年3月31日まで

**問い合わせ** 市社会福祉協議会 法人経営課 TEL 84-1011



# 長いあいだありがとうございました



春日井市養護老人ホームと春日井市第一介護サービスセンターは  
平成24年3月31日を以って事業を終了いたします。



## 養護老人ホーム施設長より

ボランティアの皆様はじめ多くの人たちと交流を持てたことは大変思い出深く、御協力に対し深く感謝申し上げます。また地域の方々には永年にわたり暖かい目で見守っていただき、本当にありがとうございました。



## 第一介護サービスセンター施設長より

昭和59年に県下で初のデイサービスとして開所して以来、利用者の皆様、ボランティアの皆様はじめ多くの方々の御協力により今日まで開所することができました。本当にありがとうございました。なお、ヘルパー事業については、浅山町の福祉作業所に拠点を移し事業を継続してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



## 各種相談事業のお知らせ

### ●心配ごと相談

日常生活上の心配ごと、困りごとの相談にのり、必要に応じて専門機関を紹介します。

相談員：民生委員・児童委員、保護司

火曜日（10時～12時・13時～15時）

TEL84-4611

総合福祉センター内相談室

### ●ふれあいカウンセリング（電話相談）

不安や悩みを共に考え、心の整理を手伝います。

相談員：ボランティアグループ

春日井「心の相談」センター

金曜日（10時～15時） TEL84-4611

総合福祉センター内相談室

## 社会福祉協議会へのご寄附ありがとうございました

平成23年11月～平成24年1月

春日井市吟剣詩舞道連合会      いっこく堂福祉チャリティートークショー来場者

春日井中央ライオンズクラブ      盲導犬チャリティー月例カラオケ実行委員会

中部大学同窓会      田楽グラウンドゴルフクラブ      春日井市婦人会協議会

パナソニックエコシステムズ労働組合      春日井スクエアダンスジャック&ベティー

遠歌謡協会      カトリック春日井教会      匿名4件

# 春日井市社会福祉協議会の会員に加入いただき、 ありがとうございました

今年度は、52,716件の世帯や法人・団体の皆さまに、春日井市社会福祉協議会の会員に加入いただき、総額16,213,440円もの会費が集まりました。ありがとうございました。併せて、会費の取りまとめにご協力いただきました、区・町内会・自治会の皆さまに深く感謝を申し上げます。

寄せられました会費の内、約8割を、市内40か所の地区社会福祉協議会へ助成し、約2割を、ボランティアセンター事業やちょっとお助けサービス事業、にこにこヘルプサービス事業等の全市的な地域福祉事業に役立たせていただきます。



地区社会福祉協議会三世代交流ラジオ体操の様子

## 共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年10月1日から3か月間展開してまいりました「共同募金運動」は、皆様の温かい御協力により34,209,684円の募金が集まりました。厚くお礼申し上げます。

今年も皆様の地域の福祉の推進に取り組んでまいります。今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

### 平成23年度共同募金実績報告

一般募金	32,477,923円		
（戸別募金）	24,419,554円	（法人募金）	3,881,961円
（学校募金）	1,741,101円	（職域募金）	789,001円
（街頭募金）	73,969円	（興行募金）	709,470円
（その他募金）	862,867円		
歳末たすけあい募金	1,731,761円		
	合計	34,209,684円	

第2弾!!

# ちょっとお助けサービス事業 活動レポート

高齢者世帯や障がいを抱える人を対象とした「ちょっとお助けサービス事業」を9月1日から開始しました。その活動内容をご報告します！

## ①ベランダのすだれの取り換えです。

まず、古いものを取り外してから新しいものを取り付けていきます。協力者の方は、広いベランダ、寒い屋外作業でもコツコツと作業を進めてくださいました。



ベランダで  
すだれを取り  
付けています。

## ②処方薬の受取りです。

利用者さんがかかりつけ医院へ処方依頼をした後、処方薬を薬局で受取り、利用者さんに届けてもらいました。



薬局へ処方  
薬を受け取  
りに来まし  
た。

協力者の方からは「お役に立てるならいつでもお手伝いしますよ」と心強いお言葉をいただきました。

このように、ちょっとお助けサービス事業は、介護保険サービスなど、公的な福祉サービスにはなじまない日常生活上の軽易な困りごとを協力者の方がお手伝いをする地域住民の助け合いを主体とした活動です。

## 『ちょっとお助けサービス事業』を利用したい方は

利用できる方は、現在、事業推進地区である鷹来地区、六軒屋地区、ニュータウン地区にお住まいの65歳以上の高齢者世帯、障がい者世帯の方です。サービスの内容や登録の方法などお問い合わせだけでも結構です。ちょっとお助けを必要とされている方の御連絡をお待ちしています。また、この事業推進地区を広げていくため、協力者として活動していただける方を市内全域から募集しています。

ちょっとお助けしていただける方の御連絡もお待ちしています。



問い合わせ 春日井市社会福祉協議会（地域福祉課） TEL 85-4321

## 家具転倒防止器具取付事業

災害時には、地域住民による助け合いが大切ですが、それとともに住民一人ひとりが自衛することが求められます。春日井市社協では防災対策として「家具転倒防止器具取付事業」を行っています。

家具（タンス・食器棚・書棚）の地震による転倒を防止するため、転倒防止器具の取付を行います。

**対象者** 自身による、又は身近な支援者の協力が得られないため器具の取付が困難な65歳以上のひとり暮らしの人など

**費用** 取付器具代のみ実費負担

